

# 知ってとくとく イノシシ対策

### ○はじめに

全国のイノシシによる農作物被害金額は約47億円(2018年度)で、哺乳類によるものとしてはニホンジカに次ぐ金額です。愛知県では約1億円(2018年度)と、哺乳類としては最大、鳥獣全体でもカラスに次ぐ金額となっており、**主要な有害鳥獣のひとつ**です。さらに農作物被害だけではなく、掘り起こしによる農地や農道の損壊といった農業基盤への被害、人身被害の懸念など、農村社会全体に対する脅威となっています。

ここでは、イノシシの特徴と具体的な農作物被害対策の概要について解説します。

### ○イノシシの特徴を知る

適切な対策のためには、相手を知ることが不可欠です。イノシシに対して優位に立ち、「百戦殆（あや）うからず」の状態に対峙するために、まずは勉強会などを行って地域ぐるみで知識を深めましょう。

#### (1) ざっと特徴を挙げると…

- ・とても用心深く学習能力が高い
- ・力が強く、土を掘る能力が極めて高い
- ・2歳で性成熟、春に5～7頭出産、約100日で離乳

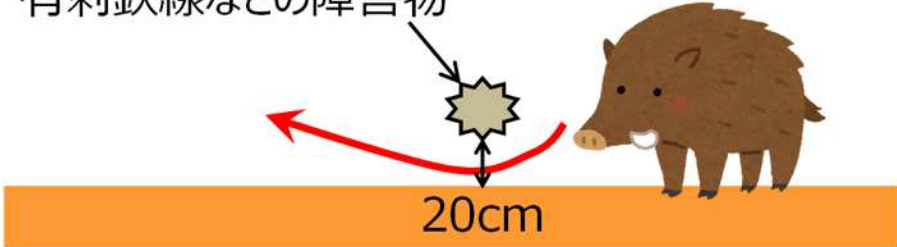


一見たくましいが、実はとても用心深い

#### (2) イノシシの行動特性に関する調査結果

イノシシ研究者による各種の実験の結果…

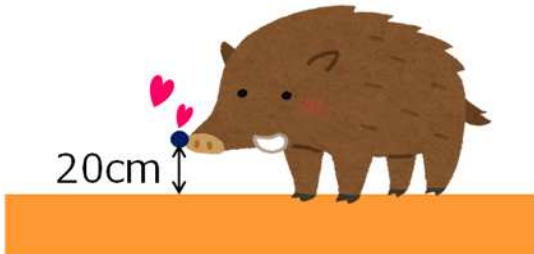
- ・高さ1.3mの柵を乗り越えた。有刺鉄線などの障害物
- ・高さ20cmに水平に設置した有刺鉄線の下を容易にくぐり抜けた。



- ・高さ20cmにロープを張るとしきりに鼻で触るが、30cmの場合は迷わずくぐり抜けた。



「電気さくの高さは**20cm + 40cm**が基本」の根拠。



・体重60kgの個体が70kg以上の石を軽々と持ち上げた。

・光、クレオソート、猛獣糞などによる忌避効果は認められなかった。



各種の忌避資材による持続的な効果は期待できない。

楽勝だぜ、ブヒッ！



### (3) 彼らはなぜ人里にやってくるのか

・山林での餌探しは難しく、集落周辺でより効率よく餌が見つかる。

・臆病だが食べ物には執着し、危険と利益を天秤にかける。



最初は恐る恐る人里を訪れ、餌を食べる経験を繰り返すうちに人慣れしていく。



集落周辺の方が餌を見つけやすい

## ○対策の要点 ～基本の「三本柱」イノシシ篇～

### (1) 環境管理 ～寄せない！～

里山の動物であり、農村の環境を好みます。そこで、農地周辺の隠れ場所と餌をできるだけ減らすことが基本となります。個人で実施しても十分な効果は得られないので、**地域ぐるみで活動することが重要**です。

- ・集落環境点検とハザードマップづくりで課題と問題点を共有
- ・休耕地の刈り払い、水路の掃除 (隠れ場所の解消)
- ・収穫残渣を片付ける、墓地の供え物を持ち帰る (餌を減らす)



地域ぐるみで環境点検 (左)



→ ハザードマップづくり (右)



収穫残渣や生ごみを放置しない



休耕地を刈り払って隠れ場所を解消

## (2) 侵入防止 ～入れない!～

侵入防止柵は、種類による**使い分け**と持続的な**管理**が重要です。

ワイヤーメッシュ柵は集落全体を、電気さくは個別のほ場を防御するのに適しています。ワイヤーメッシュ柵の設置が完了しても、安心してはいけません。設置後の定期的な点検と補修が重要で、集落環境点検と情報共有にもつながります。



————— ワイヤーメッシュ柵      ■■■■■■ 電気さく

ワイヤーメッシュ柵と電気さくの使い分けのイメージ

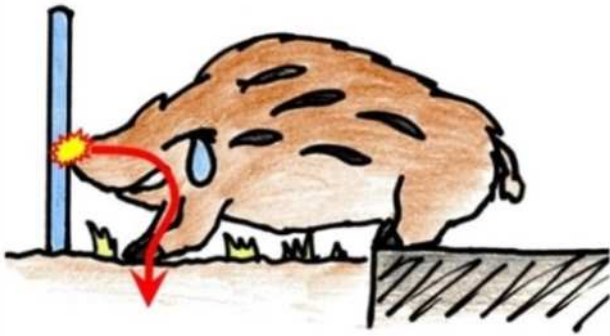


ワイヤーメッシュ柵は破損すること多い



定期的な点検が重要

- ・電気さくは20、40cmの2段張りとして、**鼻先**を確実に感電させる
- ・ワイヤーメッシュ柵は**地際**をしっかりと固定



電気さくは鼻先を感電させる必要がある



ワイヤーメッシュ柵は地際を掘られるのでしっかり固定する

### (3) 捕獲・駆除 ～捕まえる！～

環境管理と侵入防止が不十分な状態で、捕獲だけ実施しても無意味です。農地近くのわなに餌誘引することで、却って被害が増えてしまう心配もあります。

捕獲・駆除の方法に関する詳しいことは、下記資料を参照してください。



わなの手前から奥に点々と餌を配置し、こまめに管理して誘引する

- ・知ってとくとく わなによる有害鳥獣捕獲
- ・知ってとくとく 戦略的なイノシシ捕獲

#### ○参考資料・文献

- 愛知県農業総合試験場. イノシシやシカを群れごと一网打尽にできる囲い罠「おりべえ」. 研究短報No.106. 2013
- 中国新聞取材班編. 猪変(いへん). 本の雑誌社. 2015
- 江口祐輔. イノシシの行動と能力を知る. イノシシと人間(高橋晴成 編). 古今書院. 2001
- 江口祐輔. イノシシから田畑を守る—おもしろ生態とかしこい防ぎ方—. 農山漁村文化協会. 2003
- 江口祐輔. イノシシの行動研究に基づく被害対策. 哺乳類科学53(1). 2013
- 本田剛. イノシシ(Sus scrofa)用簡易型被害防止柵による農業被害の防止効果: 設置及び管理要因からの検証. 野生生物保護9(2). 2005
- 近中四農研・地域基盤研究部・鳥獣害研究室. 匂い及び猛獣糞などに対するイノシシの行動. 農研機構公式ウェブサイト. 2006
- 小寺祐二、神崎伸夫、金子雄司、常田邦彦. 島根県石見地方におけるイノシシの環境選択. 野生生物保護6(2). 2001
- 中谷淳. イノシシ被害の現状とこれからの対策. 農業1648号. 2019
- 中谷淳. 知られざるイノシシの生態と社会. イノシシと人間(高橋晴成 編). 古今書院. 2001

2020年9月改訂

#### お問い合わせ

愛知県 農業総合試験場 企画普及部広域指導室

所在地 〒480-1193 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-1

電話 0561-62-0085 (内線346) FAX : 0561-63-0815